

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」



福音宣教に献身する者・
次世代リーダーが起こされ
るように

マタイの福音書 9 章 37-38 節

教会の働き

- 26 日(月)は、在日基督教連合会新年賀礼礼拝に
参加します。

場所：茨城希望の教会 8(茨城県 石岡市)

- 29 日(木)ダニエル祈禱会感謝会に参加します。

場所：日進ペタニヤチャーチ(愛知県日達市)

- 2 月 22 日(日)は、飯田福音教会 創立 32 周年記
念礼拝です。主の恵みを覚え、共に感謝をもって礼
拝をささげます。また、午後には創立 32 周年お祝
い礼拝を行います。これまで教会を守り導いてくだ
さった主に感謝し、共に喜びを分かち合う時といた
します。当日は、記念品も用意しております。この恵
みの機会に、ご家族やご友人もぜひお招きください。
共に主の恵みと喜びを分かち合いましょう。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の
皆さんの為に。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 高木はつ江(祈禱)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 鈴木真由美(祈禱)

水曜礼拝 柳澄香(司会) 北原孝子(祈禱)

2026 年 祈 禱 題 目

1. 神の御心を求める礼拝と祈りが満ちる教会。
2. 次世代(子ども、若者)が主に召され、信仰に立つ祝福。
3. 福音宣教に献身する者、次世代リーダーが起こされる
ように。

週報 2026-4 号

2026.1.25

神の計画の中を歩む教会

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード 韓芽唯

信仰告白 (使徒信条)

代表祈禱 松島スヤンティ

特別賛美 インマヌエル聖歌隊

お知らせ

聖書箇所 マタイの福音書 9:37-38

(福音宣教に献身する者・次世代リーダーが
起こされるように)

メッセージ 柳承吉牧師

賛美 神の家族

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード 韓芽唯

代表祈禱 北原孝子

聖書箇所 ルカの福音書 11:14-28

(主イエス様と真の交わり)

メッセージ 柳承吉牧師

主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00~

司会 松島スヤンティ

代表祈禱 高木はつ江

聖書箇所 ローマ書 9:6-13

メッセージ ローマ書 9章の概略(3) 柳承吉牧師

主の祈り

今週の御言葉

福音宣教に献身する者・次世代リーダーが起こされるように
マタイの福音書 9章 37-38節

イエス様は弟子たちにこう言われました。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に祈りなさい。」

この言葉は嘆きではなく、希望の宣言です。神の救いの御業は、すでに人々の人生の中で始まっています。問題は、収穫が足りないことではなく、そこへ遣わされる人が少ないことです。

教会は、集まり、守られ、慰めを受ける場所です。しかしそれで終わるのではありません。教会は、集められ、養われ、遣わされる共同体です。

今年の祈禱題目「福音宣教に献身する者・次世代リーダーが起こされるように」は、将来の誰かのための祈りではなく、今の教会の姿勢を問う祈りです。

イエス様は、人々を見て「畑が荒れている」とは言われませんでした。「羊飼いのいない羊」のように疲れ果てた群衆を憐れみ、「収穫の主に祈りなさい」と命じられました。

宣教は人の計画ではなく、神が主導される御業だからです。祈りとは、「主よ、あなたが働いてください」と主権を神に委ねる信仰告白です。そしてこの祈りの直後、弟子たち自身が遣わされていきました。

祈る教会は、やがて遣わす教会となり、祈る者自身が遣わされる者となるのです。

聖書は、次世代リーダーを人が作る存在として描きません。モーセ、ダビデ、エレミヤ、使徒たちは、誰も志願者ではありませんでした。神が名を呼び、使命を与え、聖霊によって整えられた人々です。

次世代リーダーとは、能力よりも、神の呼びかけに応答する心を持つ者です。

教会の役割は、人を急いで前に出すことではありません。小さな忠実さを見抜き、失敗を裁かず、成熟の時に祈りながら待つことです。

教会は、人を用いる場所ではなく、神が人を用いられることを信じて仕える共同体です。

愛する聖徒の皆さん。

主は今も、この教会から働き手を起こそうとしておられます。

その始まりは、「誰かが行けばよい」という願いではなく、「主よ、私をどのように用いられますか」という、私たち自身の祈りと応答です。

祈りで支えること、次世代を信じて待つこと、誰かを送り出すために手放すこと、与えられた場所で忠実に仕えること。これら一つひとつが、「遣わされる教会」の具体的な姿です。

「主よ、ここに私がおります。私を遣わしてください。」この祈りに、収穫の主は必ず応えてくださいます。なぜなら、主ご自身が今も働いておられるからです。